

課題名	32 イネもみ枯細菌病の発生生態と防除法の確立	分類	②
	(2) イネもみ枯細菌病に対するスターナ粉剤DLの散布法		
試験研究年次	2年(完了)		
I 目的 イネもみ枯細菌病に対する新農薬について、防除時期及び散布回数の違いによる効果と葉害の有無を検討し、農薬の効率的な使用方法を明らかにする。			
II 試験方法			
1 試験場所	早生種 筑紫野市阿志岐 一般農家圃場 中晩種 筑紫野市大字吉木 福岡農総試場内圃場		
2 耕種概要	品種 早生種「ミネアサヒ」、中晩種「ヒノヒカリ」 移植期 早生種6月17日 中晩種6月27日、稚苗機械移植 出穂期 早生種8月16日 中晩種8月27日 施肥及び管理は一般慣行による。		
3 区制・面積	早生種1区60~200m <sup>2</sup> 、1区制、中晩種1区70~120m <sup>2</sup> 、2区制		
4 供試薬剤・散布時期・量	本田散布剤 オリゼメート粒剤(プロベナゾール 8.0%) カスラブサイド粉剤3DL(カスガマイシン 0.3%) スターナ粉剤DL(オキシソリニック酸 1.0%) 各薬剤とも4kg/10a散布 散布時期は第1表、第2表、第3表参照		
5 調査方法	出穂18日後に1区20株×5カ所、計100株を選び、全穂について下記の発病程度基準に従って調査し、発病度を算出した。 程度別調査基準 A: 発病もみ率2/3以上、B: 2/3~1/3、C: 1/3~1/10 D: 1/10以下、E: 発病なし		
	$\text{発病度} = \frac{4 \times A + 3 \times B + 2 \times C + D}{4 \times \text{調査穂数}} \times 100$		
III 主要成果の概要 イネもみ枯細菌病に対して、スターナ粉剤DLは10a当たり4kg1回散布で防除効果が高い。散布適期は、走り穂を認めた時期である。			
1 新農薬であるスターナ粉剤DLの出穂期1回及び出穂期と穂揃期の2回散布はいずれも現行の体系防除より防除効果が高い。			
2 スターナ粉剤DLの散布時期別防除効果は、出穂1日後散布で効果が最も高く出穂前18、14、7及び出穂後7日の1回散布ではほとんど効果は認められない。			
3 本田期散布での葉害は、いずれの散布時期、品種においても見られなかった。			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 現行防除体系と比較したスターナ粉剤DLの防除効果  
(品種: ミネアサヒ)

防除法	出穂期を基準とした散布時期				発病度	防除価
	-15日	-3日	0日	+4日		
スターナ1	-	スターナ	-	-	0.67	56
スターナ2	-	スターナ	スターナ	-	0.27	82
現行1	オリゼート	-	カスラフ	カスラフ	0.23	85
現行2	-	-	カスラフ	カスラフ	0.36	77
無散布	-	-	-	-	1.52	

注) 表中のスターナ、オリゼート、カスラフはそれぞれ スターナ粉剤DL、オリゼート粒剤、カスラフサイト粉剤3DLを示す。

第2表 現行防除体系と比較したスターナ粉剤DLの防除効果  
(品種: ヒノヒカリ)

防除法	出穂期を基準とした散布時期			発病度	防除価
	-15日	+1日	+4日		
スターナ1	-	スターナ	-	0.13	93
スターナ2	-	スターナ	スターナ	0.14	92
現行1	オリゼート	カスラフ	カスラフ	0.49	72
現行2	-	カスラフ	カスラフ	0.37	79
無散布	-	-	-	1.78	

注) 表中のスターナ、オリゼート、カスラフはそれぞれ スターナ粉剤DL、オリゼート粒剤、カスラフサイト粉剤3DLを示す。

第3表 スターナ粉剤DLの薬剤散布時期・散布回数と防除効果  
(品種: ヒノヒカリ)

供試薬剤	出穂期を基準とした散布時期					発病度	防除価
	-18日	-14日	-7日	+1日	+7日		
○						3.1	f 0
		○				2.7	ef 0
スターナ粉剤DL (有効成分1.0%)			○			2.4	cdef 4
				○		0.5	ab 80
					○	1.3	bcdef 48
				○	○	0.7	ab 72
無散布						2.5	def

注) 同一英小文字間にはダンカンの検定(5%)による有意差がないことを示す。

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 イネもみ枯細菌病防除薬剤の指導資料として活用できる。
- 2 スターナ粉剤DLは現在登録申請中であり、3年10月に登録される見込みである。

VI 今後の研究上の問題点

イネもみ枯細菌病の総合的防除技術の確立

VII 資料名

2年度 福岡県農業総合試験場生産環境研究所 普通作物病害虫関係試験成績書